

1996年9月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

500 hPa 高度ではカナダ東部に顕著な正偏差が見られた。また、ヨーロッパ北部からベーリング海にかけての東半球の北極海でも正偏差となった。5月以降続いていた極渦の強い状態は終わった。亜熱帯ジェットは地中海から中央アジアにかけて強かった。対流活動は北半球側の東部インド洋から太平洋西部で平年より活発であった。

世界の異常天候

① 中国の高温・少雨

中国では東部を中心に広い範囲で高温・少雨となった。中国南部の広東省では台風による被害が報じられた。

② ヨーロッパからシベリアの低温

シベリアからヨーロッパにかけて広い範囲で低温となり、月平均気温が平年より2℃以上低いところがあった。

③ インドネシアの高温

④ イギリスの高温

⑤ ヨーロッパ南部から中東部の多雨

ヨーロッパ南部から中東部にかけて広い範囲で多雨となった。一方、イギリスやフランス、スカンジナビア半島では少雨となった。

⑥ アフリカ北部の高温

⑦ アメリカ合衆国中西部・東部の多雨

カナダ西部やアメリカ合衆国中西部・東部では多雨となった。アメリカ合衆国の大西洋側ではハリケーンの影響で被害があり、ポトマック川の氾濫などが伝えられた。

⑧ カリブ海周辺の高温・少雨

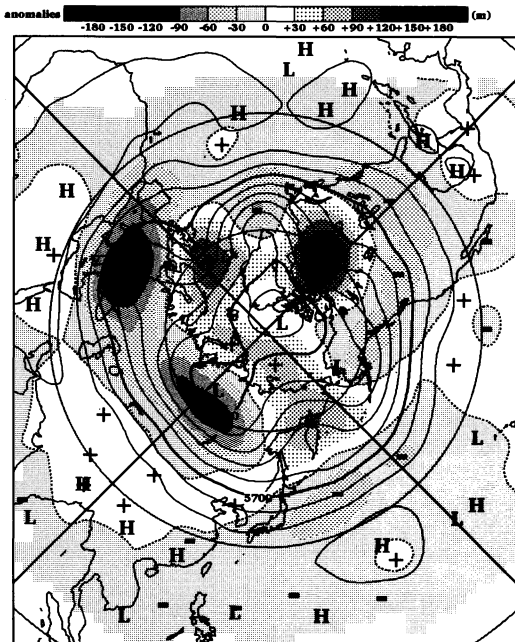
メキシコやカリブ海周辺では少雨となったところがあった。プエルトリコやドミニカではハリケーンによる被害が伝えられた。

⑨ アルゼンチン南部の高温

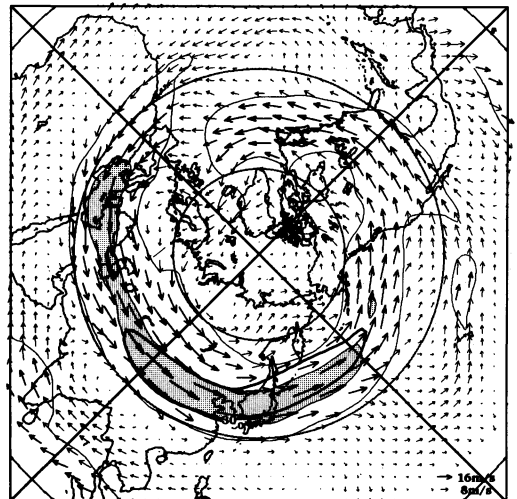
アルゼンチン南部やチリ南部では高温・少雨となった。一方、アルゼンチン北部では月平均気温が平年より低かった。

⑩ メラネシアの高温

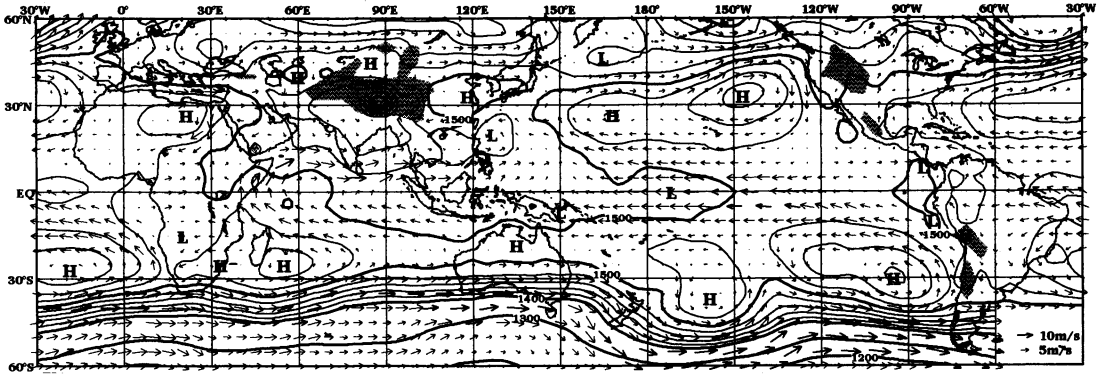
(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 徳広貴之)



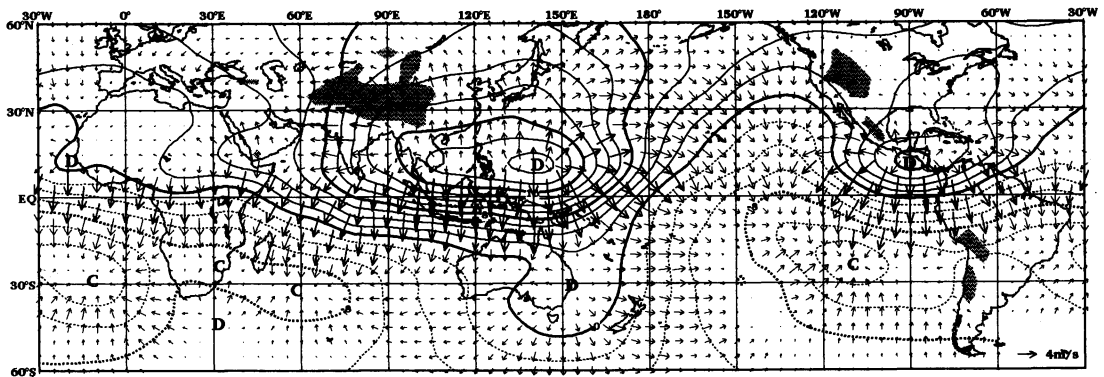
1996年9月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差等値線間隔、偏差パターン間隔は60 m。平年値は1961～1990年のデータに基づくもの。



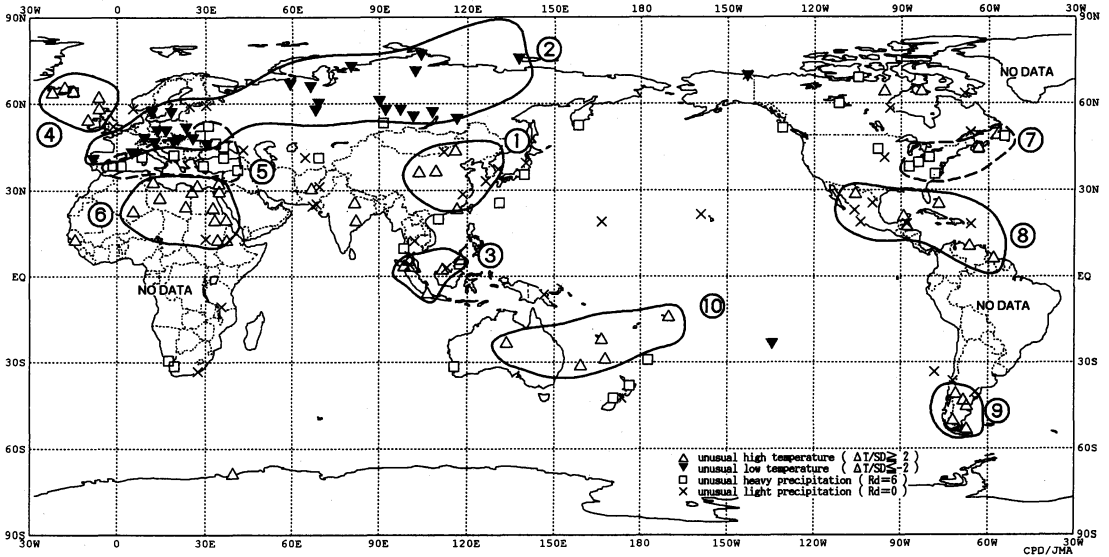
1996年9月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル等値線間隔は20 m/s。陰影部は平年で40 m/s以上。平年値は1979～1990年のデータに基づくもの。



1996年9月の月平均 850 hPa 高度および風ベクトル 等値線間隔は 20 m (1400 m までは 100 m)



1996年9月の月平均 200 hPa 速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



1996年9月の世界の異常気候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6または0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.